



ロックダウン上海における食材調達手段について

北陸銀行 国際部
上海駐在員事務所
陳 潔

1. はじめに

上海では3月に入りコロナ感染者数が急速に拡大し、3月28日より都市封鎖・ロックダウンとなりました。上海市を二つの地区に分け封鎖を開始し、当初は4月5日に市内すべてが封鎖解除の予定でしたが、日々感染者は増加し4月13日現在も継続しております。4月10日以降、感染者数は無症状者を含めて1日あたり2万人以上となっており、ゼロコロナ政策下で封鎖解除の目途が立たない状況です。

私が住む住宅団地（上海市）ではロックダウン開始前の3月12日に一度封鎖となりました。実はロックダウン前、既に上海市内の至る所・住宅団地ごとに封鎖は始まっていました。政府方針では住宅団地から陽性者が一人でも出ると、その住宅団地全体（数百人単位の居住者）を14日間の隔離・封鎖する、というものでした。新規感染者が新たに出れば、また一から封鎖日数をカウントされます。その間の食料確保は外からの宅急便が頼りでした。そのうちに上海市がロックダウンとなりました。

2. 食料調達について

（1）政府支援物資

住宅団地によって政府からの援助物資、配布回数も異なっています。私が住む楊浦区の住宅団地は1回のみ（4月2日・各部屋1セット）でした。区によっては4～5回政府からの援助を受けたところもありました。



（楊浦区1回目の援助物資）

野菜若干、加工肉、卵



（長寧区2回目の援助物資）

米、牛乳、ステーキ、みかん、野菜若干

- ④一人暮らしのお年寄りへの特別サービス
私が住むマンションでは、一人暮らしのお年寄りには弁当の配達サービスが行われています。



3. おわりに

政府からの援助物資は配布回数が少なく1家族で数日しか持ちません。また次の援助はいつになるか分からない状況で市民は食料確保に必死な状況です。食材が切れた人々は建物封鎖で外出が出来ず、食材を仕入れるために毎日、団体購入を続けるしかないのが実情です。また、高齢者世帯で携帯での支払いが出来ず団体購入ができない人達は、子供の助けを求めるか、住宅団地のパック・サポート（上記2. (2)②）を待つしかありません。

2020年のコロナ感染拡大の際には外出は可能で、食料確保に困ることはありませんでした。一日も早くロックダウンが解除され、落ち着いて欲しいと思います。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp